（様式第1号）

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	仙台塩釜港仙台港区港湾環境整備施設（中央公園及びリバーウォーク）
指 定 管 理 者 の 名 称	株式会社東北ダイケン
施 設 所 管 部 課 （ 室 ）	土木部港湾課

1．当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期　　間	管理形態	指定管理者（管理受託者）の名称	摘 要
平成26年4月　～　平成29年3月	指定管理者	株式会社東北ダイケン	
平成29年4月　～　令和4年3月	指定管理者	株式会社東北ダイケン	
令和4年4月　～　令和9年3月	指定管理者	株式会社東北ダイケン	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2．現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名　称	株式会社東北ダイケン
	所在地	仙台市青葉区一番町3丁目6－1　一番町平和ビル6階
指　定　期　間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日　（5か年）	
募　集　方　法	■　公募　□　非公募	

3．施設の概要【施設所管課記入】

施　設　の　名　称	仙台塩釜港仙台港区港湾環境整備施設（中央公園及びリバーウォーク）	
所　在　地	仙台市宮城野区港2丁目地内	
設　置　年　月	昭和63年8月暫定供用開始，平成4年4月全面供用開始	
根　拠　条　例　等	港湾施設等管理条例	
設　置　目　的	貨物の取扱等事業活動が行われる仙台港区内の環境を快適にし、港湾利用者や県民等に散策や休養、レクリエーションなどによる海や港とのふれあいの場を提供するとともに、港湾に対する親しみや活動に対する理解の増進を図る。	
施　設　の　内　容	敷　地　面　積	95，655㎡
	構　　造	①仙台港中央公園：85，846㎡，②仙台港リバーウォーク：9，809㎡
	内　　容	①管理棟・野球場・テニスコート・展望台・海の広場・多目的広場 駐車場・トイレ（3棟）・その他 ②緑地帯・その他
開　館　（　所　）　日	原則として通年開園（有料公園施設は12月29日～1月3日まで休業日）	
開　館　（　所　）　時　間	管理棟：午前8時30分～午後5時15分，有料公園施設：午前7時～午後6時（11月～3月は午後5時まで）	
指定管理者が行う業　務　の　範　囲	①有料公園施設（野球場・テニスコート）の使用許可に関する業務 ②施設の維持管理に関する業務 ③その他，知事が別に定める業務	
利　用　料　金　制	採　用　の　有　無	■　有　□　無
	利 用 料 金 の 名 称	有料公園施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入（太枠内は指定管理者記入）】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前　年　度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
開館(所)日数	365　日	365　日	365　日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	140,000　人	134,881　人	139,853　人	99.9%	103.7%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前　年　度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
一般来園者	130,000　人	126,306　人	130,268　人	100.2%	103.1%
有料施設利用者	10,000　人	8,575　人	9,585　人	95.9%	111.8%
合　　計	140,000　人	134,881　人	139,853　人	99.9%	103.7%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入（太枠内は指定管理者記入）】

(1) 収入

（単位：千円、％）

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前　年　度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
県指定管理料	12,700	12,500	12,700	100.0%	101.6%
利用料金収入	2,780	2,280	2,138	76.9%	93.8%
その他				-	-
収 入 計 (a)	15,480	14,780	14,838	95.9%	100.4%

(2) 支出

人件費	10,680	9,616	8,937	83.7%	92.9%
施設管理費	6,390	7,349	7,424	116.2%	101.0%
事業運営費				-	-
その他				-	-
支 出 計 (b)	17,070	16,965	16,361	95.8%	96.4%

(3) 収支

収　支 (c)=(a)-(b)	-1,590	-2,185	-1,523	95.8%	69.7%
前期繰越収支差額		-2,512	-1,285	-	51.2%
次期繰越収支差額		-4,697	-2,808	-	59.8%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

自主事業収入	1,590	1,179	1,391	87.5%	118.0%
自主事業支出	0	154	235		152.6%
収　支 (c)=(a)-(b)	1,590	1,025	1,156	72.7%	112.8%

6. 評価対象年度（令和7年度）の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	・園内の巡回点検を計画通り実施し、点検時の不具合箇所については、早急に修繕対応するなど施設の維持管理に努めた。	・事業計画書以上に実施した。 ・快適に公園で過ごせるよう数量以上の維持管理が出来た。	S	・トイレを中心に経年劣化が目立つ園内設備の維持管理について、適正に実施し、施設の破損が発見された際には速やかに補修を行い、利用者が安心して活動できる環境を提供している。 ・海の広場における陥没箇所やデッキの板のめくれも速やかに補修対応し、施設設備環境を良好に維持した。	S
	収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	利用料・自主事業収入は前年比102%となった。	A	施設の老朽化等によって多額の修繕が必要となったが、適時県と相談し、利用者の安全な利用を保持しつつ支出抑制に最大限努めた。	A
効率性	管理運営体制	・基本協定書、仕様書、事業計画書に基づき、植栽、施設、清掃、利用の管理を実施する為、適正な体制で実施した。 ・毎月、担当デスク（阿部）が巡回時に業務報告、作業予定確認、利用状況確認、個人情報や安全管理について各種教育、業務改善指示、利用者への接遇教育等を実施。	・現場責任者1名、職員3名を配置し、本部担当者1名、本部責任者1名が統括及びサポート支援に回り、適正な体制で管理運営を行った。	A	・事業計画書に沿った適切な人員配置がなされている。 ・本社担当者が毎月巡回し、職員の教育に当たっている。また本社での安全大会への参加や防災訓練などを実施し、職員の対応能力の向上に努めている。	A
	人員体制	正規　6 人　非正規　人				
	運営業務（ソフト事業等）の実施	・基本協定書、仕様書、事業計画書に基づき、施設の清掃、植栽、利用管理を適切に実施した。 ・公園の設置目的を達成する為、効果的、効率的な運営に努めた。 ・利用者の公平・平等な利用の確保に努め、利用者からの問い合わせ等に対しては誠意を持って対応する事、透明性の確保に努めた。	・効果的、効率的に管理運営を行い、利用者へのサービス向上に努めた結果、利用者からの評価を受け終了した。	S	・事業計画書に沿って、適切に施設の清掃、植栽、利用管理を実施した。特に、多目的広場や林地は、計画以上の回数の草刈を実施した。 ・利用者が安心して利用できるよう、施設の保全整備を適切に実施した。具体的には、後発地震注意情報について、園内掲示や巡回声掛けなどを実践している。その他、危険個所への立ち入り禁止処置など予防的な施設保全に努めている。	S
有効性	利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	来園者数は前年比103%の実績でした。テニスコート利用者数は前年比96%、野球は前年比126%、釣り客は前年比120%、一般利用者は89%となった。 釣り客は年々、釣れない状況だが微増である。	A	・近隣の公園施設等が増加するなかで概ね安定した利用実績を残すことができている。 ・釣り客の増加により、スペースに余裕がないとの要望も聞かれる。状況を注視し、対応を検討したい。	A
	利用者サービスの向上	・テニスコート混雑時の終了予定時刻のアナウンス実施。 ・合成音声によるマナー、閉園アナウンスの実施 ・テニスコート壁面のペンキ補修 ・釣り客及び犬の散歩のマナーアップ推進（ごみ及び糞の不法投棄） ・キッチンカー（お弁当、パン他）を定期的（月・水・金）に導入し、利用者から大変喜ばれた。	事業計画書以上の対応ができた。	S	・職員が利用者に積極的に声掛けを行い、親しみやすい環境づくりを図っている。 ・定期的なホームページ更新に加え、季節ごとのパンフレット配布を追加するなど、公園情報の発信を充実させ、利用促進に努めている。 ・キッチンカーに加え釣り具販売の定期出店によって利用者の好評を博している。	S
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	・毎年、要望としてトイレの大規模改修がきている。	・利用者アンケートの内容について検討し、苦情・要望について可能な限り改善を行い、利用者の声を反映した施設づくりを行った。	S	・利用者アンケート等による意見を適切に取り入れた管理を行っている。 ・職員が利用者に積極的に声掛けを行い、アンケートに現れないサイレントニーズの把握に努めている。 ・把握した意見等を適切に県へ報告し、利用者の声を反映させた施設運営に努めている。 噴水の修繕についてもアンケートで要望を把握できた。	S
その他	県民の平等利用	・利用者の公平・平等な利用の確保に努め、利用者からの問合せ等に対しては誠意を持って対応した。	・利用者からの公平性に係る苦情等は発生しなかった。	A	・野球場の予約希望重複時には、公平性確保のため抽選を行うなど、利用者の公平かつ平等な利用に配慮している。 ・増加している釣り客に対しても巡回によりトラブル防止に努めている	A
	安全対策	・施設の巡回点検を職員が毎日2回行い、施設の異常及び危険箇所を早期に発見し、職員で対応可能な小修繕は即座に対応した。又、専門業者でなければできないものは業者に依頼する等適切な対応に努めた。 ・釣り客のゴミの不法投棄や不法焚火など年々多くなっており、公園火災などにつながらないよう園内放送などで来園者へ注意喚起した。 ・ポプラが樹齢的に枝折れが多く発生しており、県に依頼して伐採した。	・利用者の安全対策を重要視し、施設点検及び事故防止対策を徹底した。 ・危険箇所の早期発見に心がけ、来園者の事故防止に努めた。	S	・定期的に巡回し、危険箇所の把握、対応を適切かつ迅速に行った。 ・防災訓練、火災訓練に加え、津波避難訓練の実施や各種対応マニュアル等の読み合わせを複数回実施し、緊急時対応への備えを行った。 ・カムチャッツカ半島沖地震や三陸沖の後発地震注意情報にも、適切に対応している。	S

主な視点	項　　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
その他	個人情報の保護	・個人情報保護基準に則り、個人情報の取り扱いを行った。	・個人情報の漏洩は発生しなかった。	A	個人情報保護に関する規定を設け、個人情報の適正な管理のための必要な措置を講じることができている。	A
	自主事業の実施	・恒例のクリスマスリース作り体験会を実施した。 ・第8回ジュニアテニス大会を実施した。 ・青空ヨガ教室開催 ・キッチンカーを毎週土日祝出店し利用者サービスに貢献した。 ・社会人、大学生軟式野球大会を開催(4チーム　120名参加) ・管理棟前に子供用簡易プール設置 ・古稀、還暦野球仙台リーグ戦東北ダイケン杯開催 ・小学生向けボランティアガイド開催	・事業計画書以上に実施した。 ・参加者には大変好評だった。	S	・野球大会120名、ジュニアテニス大会49名、青空ヨガ教室には第1回19名・第2回10名の参加があった。 ・小学生向けボランティアガイドを開催し7校総数478名が参加した。 ・社会人、大学生軟式野球大会を行い、利用者の満足度向上のため工夫している。	S
	その他の取組	・廃棄物の分別を徹底し適正処理を行った。	・省エネルギー・温室効果ガス排出抑制対策を実施し地球環境保全への貢献に寄与した。	A	・設置している自販機はLED照明・ヒートポンプ機能・真空断熱材など使用しており消費電力削減に努めている。またリユース自販機、リサイクル回収BOXは再生PETボトル樹脂仕様など環境配慮型も設置している。 ・ごみ分別、ごみ削減も積極的に実施し、公園内のごみ持ち帰りも利用者へお願いしている。	A
総　合　評　価			施設全体の老朽化が激しいなか釣り客や一般利用者とのコミュニケーションを優先してとることで、苦情などの減少に寄与している。 所長を中心にマナー向上、モラル向上が公園全体のイメージ向上及び満足度向上につながるとの認識をもって日々業務についた。	S	施設の老朽化等が目立つようになっている中、利用者を第一に考え、小学生向けボランティアガイドの実施や花壇の整備など、主体的な創意工夫を行い、利用促進や利用者満足度向上を図っている。 前年度を上回る入園者数であり、優れた管理運営を行った。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項　　目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	・自然災害(暴風・地震)による倒木枝折れが年々増加しており高木剪定を計画的に実施していく必要がある。 ・混雑期における土日祝日の有料施設利用者の駐車場確保(夢メッセ側へ誘導促進) ・釣り客のマナーアップ向上(声がけ、園内放送による告知J、注意看板設置) ・第一トイレ、第二トイレの改修工事(老朽化による苦情、要望が多く、温便座など必要である)	・トイレを中心とした施設老朽化への対応 ・有料施設利用者の利用促進、及び駐車場確保 ・釣り客のスペース不足についての状況把握